

授業概要

領域「言葉」のねらいや内容への知識を身につけ、保育において実践できるよう講義する。具体的には乳幼児の言葉の発達や表現行動の特徴、および言葉と生活、人間関係との深い関わりについて理解するとともに、保育者として求められる表現力とコミュニケーション力、感性を身につけられるよう、多くの事例と遊びの紹介を取り入れて講義する。

授業計画

（ ）内は教科書該当章 G・W＝グループワーク

第1回	オリエンテーション、乳幼児の言葉の発達①0～10ヶ月（2章）【遊び】「おなまえリレー」
第2回	乳幼児の言葉の発達② 10か月～2歳（2章）、【遊び】「あたまのうでポン」
第3回	乳幼児の言葉の発達③ 2歳～4歳（2章）、【遊び】「うそっこ自己紹介」
第4回	乳幼児の言葉の発達④ 4歳～5歳（2章）、【遊び】「ポーズでしりとり」
第5回	乳幼児の言葉の発達⑤ 5歳～6歳（2章）、【演習】遊びや活動をノートをまとめよう
第6回	乳幼児の言葉の発達（まとめ）、【演習】G・W「言葉の発達をスライドで発表しよう」
第7回	子どもの育ちと表現（2章）、【遊び】「おはなしリレー」①
第8回	子どもの豊かな表現を引き出す保育者の役割（3章）、【遊び】「おはなしリレー」②体の表現
第9回	生活の中の言語表現（4章）、【遊び】オノマトペと反対言葉を使った遊び
第10回	絵本の種類と保育における活用 ※次回授業で持参する絵本について
第11回	絵本の読み聞かせの工夫【演習】「友だちに絵本を紹介しよう」
第12回	昔話や絵本をもとにしたごっこ遊び① 【演習】昔話「ももたろう」をもとにしたごっこ遊び
第13回	昔話や絵本をもとにしたごっこ遊び② 【演習】前回のごっこ遊びを指導案に書いてみよう
第14回	子どもの言葉を育む遊び・活動（まとめ）
第15回	子どもの言葉の育ちにおける現代的な課題と保育の使命（8章）
第16回	筆記試験

到達目標

- ・子どもの言葉の発達と保育内容「言葉」について理解し説明できる。
- ・事例と授業内の体験を通して豊かな言葉を育む環境構成の知識を習得できる。
- ・事例と授業内の体験を通して子どもとの関わり、遊びや活動についての知識を習得できる。
- ・領域「言葉」に関わる指導計画の立案に必要な基礎的な力を習得できる。

履修上の注意

- ・授業毎に子どもの遊びを実際に経験する。楽しんで参加し授業後に遊びの手順をまとめておく。
- ・授業の最初に前回授業で学んだ知識を豆テストや質問で確認する。授業の復習は必ずしておくこと。
- ・遅刻は20分以内までとし、遅刻3回で欠席1回とする。

予習・復習

- ・予習：教科書該当章を読んでおく。
- ・復習：①ノートを読みかえす。②授業で扱った遊びをノートにまとめる。（遊びの手順、内容、年齢、環境図など）③授業で紹介された絵本を「絵本ノート」（授業時に作成の方法を指示する）に記入する。

評価方法

- ・授業への参加度 20%
- ・提出物（豆テスト含む）・発表：30%
- ・筆記試験：50%

テキスト

- ・教科書：事例で学ぶ保育内容 領域「言葉」
- ・著者：無藤隆 監修
- ・出版社名：萌文書林
- ・出版年（ISBN）：2018年（978-4-89347-259-5）